

2019年11月11日

上場会社名 アネスト岩田株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一 TEL 045-591-9344
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	19,535	1.1	2,222	4.2	2,352	9.5	1,483	10.2
2019年3月期第2四半期	19,318	21.9	2,319	18.6	2,599	11.0	1,651	11.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,173百万円 (5.1%) 2019年3月期第2四半期 1,116百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	33.55	
2019年3月期第2四半期	39.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,788	33,943	64.0
2019年3月期	47,557	33,502	62.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,605百万円 2019年3月期 29,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		11.00		11.00	22.00
2020年3月期		12.00			
2020年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	0.5	3,800	12.4	4,000	14.9	2,400	18.6	57.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	41,745,505 株	2019年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,703 株	2019年3月期	6,664 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	41,738,819 株	2019年3月期2Q	41,738,846 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(2)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績及び財政状態に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

①概要及び経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦やブレグジット問題などを起因とする先行き不透明な状況が続き、景気の減速感が増してまいりました。日本経済は雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調となった一方で、海外における不確実性の高まりを受けて、製造業の設備投資には慎重な見方が広がりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,535百万円（前年同四半期連結累計期間対比1.1%増）、営業利益2,222百万円（同4.2%減）、経常利益2,352百万円（同9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,483百万円（同10.2%減）となりました。

（ご参考値）事業部別の状況

（単位：百万円）

事業部 (製品区分)	当第2四半期連結累計期間 2019年4月1日～2019年9月30日	
	連結売上高 (前年比)	連結営業利益 (前年比)
エアエナジー事業部	11,318 (0.9%)	993 (—)
圧縮機	10,590 (2.9%)	
真空機器	727 (△21.6%)	
コーティング事業部	8,217 (1.4%)	1,228 (—)
塗装機器	6,594 (0.8%)	
塗装設備	1,623 (4.0%)	
合計	19,535 (1.1%)	2,222 (△4.2%)

（注）事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

②財政状態の分析

資産は、流動資産が26,176百万円（前連結会計年度比0.6%増）となりました。固定資産は21,612百万円（同0.4%増）となりました。その結果、総資産は47,788百万円（同0.5%増）となりました。

負債は、流動負債が9,689百万円（同2.7%減）となりました。これは主に、「短期借入金」（一年以内返済長期借入金を含む）が298百万円減少したことなどによるものです。固定負債は、4,156百万円（同1.4%増）となりました。これは主に、「その他」に含まれるリース債務（固定）が増加したことなどによるものです。その結果、負債合計は13,845百万円（同1.5%減）となりました。

純資産は、33,943百万円（同1.3%増）となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は30,605百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の62.9%から1.1ポイント増加し64.0%となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ346百万円減少し、9,512百万円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、資金収支は1,861百万円の収入（前年同四半期比576百万円減）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が248百万円減少したことや「たな卸資産の増減額」が306百万円増加したことなどによるものです。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、資金収支は955百万円の支出（同250百万円増）となりました。これは主に、前年同四半期に発生したイタリアや台湾の連結子会社化による「出資金の払込による支出」、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」が565百万円減少し、資産の有効活用を目的とした社債の購入などにより「投資有価証券の取得による支出」が603百万円発生したことなどによるものです。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、資金収支は1,131百万円の支出（同31百万円増）となりました。これは主に、前年同四半期に発生した「連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の払込による支出」が351百万円減少した一方で、「短期借入金の純増減額」が314百万円増加したことや「非支配株主への配当金の支払額」が104百万円増加したことなどによるものです。

④セグメントの業績

当社グループで採用しております地域別セグメントの状況は以下のとおりです。なお、セグメントの業績に関する詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）をご参照ください。

日本

売上高は11,695百万円（前年同四半期連結累計期間対比4.4%増）、セグメント利益は1,787百万円（同8.7%減）となりました。

圧縮機製品では、従来から継続してきた提案型営業の成果によりオイルフリースクロールコンプレッサをはじめとする省エネ性の高い製品販売が伸びました。さらに消費増税に伴う駆け込み需要が一部で見られたほか、キャンペーン実施による受注の増加などに支えられ、堅調な推移となりました。真空機器製品では、依然として半導体製造市場の低迷が続いており、検査装置をはじめとした周辺装置向け真空ポンプの販売が減少したものの、既存の販路を活用した一般工業市場向けの販売は着実に伸びています。塗装機器製品では、当社の主力製品であるスプレーガン“WIDERシリーズ”のフルモデルチェンジを行いました。販売に伴う旧型品の切り替えキャンペーン実施に加えて、さらにプロモーション活動を継続していくことで早期の市場浸透を目指しております。塗装設備製品では、自動車部品塗装向け設備の納入を主として伸びました。引き続き、既納ユーザ訪問による設備更新や新設したコーティングソリューションセンターの活用による提案活動を進めております。

秋田工場では、スプレーガン本体を製造するアルミダイカストマシンを増設し、スプレーガンの生産能力を強化いたしました。

ヨーロッパ

売上高は2,461百万円（前年同四半期連結累計期間対比1.4%減）、セグメント利益は199百万円（同2.5%増）となりました。総じて、ユーロに関する為替のマイナス影響を最小限に留めた状況となりました。

圧縮機製品ではオイルフリー化が進む車両搭載用圧縮機ユニットの拡販体制をさらに強化すべく、フランスの圧縮機製造・販売会社であるE. M. S. CONCEPT SARLと資本提携をいたしました。真空機器製品では、ロシア向け受注が堅調なものの、対前期比では依然として厳しい状況が続いております。塗装機器製品では、プロモーション活動を継続している自動車補修用スプレーガン並びに木工・皮革製品市場に向けた塗装機器の販売が伸びました。

連結子会社のHARDER & STEENBECK GmbH & Co. KGでは、ドイツのエアーブラシメカとしてEU圏内及びその他地域へ拡販のため設備投資を行い、供給能力を強化いたしました。

アジア

売上高は6,837百万円（前年同四半期連結累計期間対比1.6%増）、セグメント利益は614百万円（同6.2%増）となりました。

中国における圧縮機製品では、製造設備用の小、中形圧縮機販売が好調だった一方で、大形機の需要減少や車両搭載用圧縮機ユニット販売の停滞が影響し、全体としては動きが鈍化しております。真空機器製品では、日本の導入事例をもとに市場開拓を行った結果、販売が伸びました。塗装機器製品では工業塗装市場において、昨年リニューアルしたハンドスプレーガンの販売が増加いたしました。日本で発売開始をした“WIDERシリーズ”の販売準備を整え、さらなる販売の伸びを目指しております。塗装設備製品では自動車部品や木工品製造などを主としたユーザ訪問を活発に行い、引き合い、受注ともに堅調に推移しております。

インドにおいては中国に続く市場として輸送用車両搭載向け並びに医療向け圧縮機ユニットなどの拡販活動を継続しておりますが、ノンバンク問題による内需不振や排ガス規制強化を受けた自動車販売の減少といった景気減速への懸念材料も多く、経済環境を慎重に見極め、市場開拓を行ってまいります。

その他

売上高は2,373百万円（前年同四半期連結累計期間対比7.4%減）、セグメント利益は102百万円（同3.5%増）となりました。

アメリカにおける圧縮機製品では、車両搭載や医療用の圧縮機ユニットが堅調に推移しており、真空機器製品では、新たな装置メーカーや大型の研究施設開拓による成果が現れつつあります。塗装機器製品では、従来からの自動車補修市場に加えて、工業塗装市場への拡販活動に注力しております。

メキシコにおいては、従来からの市場開拓による成果として自動車部品塗装に関連する設備製品を受注いたしました。

ブラジルにおいては、医療用圧縮機の販売が伸長しております。塗装機器製品においてもECサイトやSNSを活用したプロモーション活動が奏功し、堅調に推移しております。

オーストラリアにおける圧縮機のサービスビジネスにつきましては、マネジメントの交代による体制の再構築をすすめております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結累計期間業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2019年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,787,387	10,411,638
受取手形及び売掛金	7,336,396	7,423,091
商品及び製品	3,914,313	4,106,388
仕掛品	873,703	911,805
原材料及び貯蔵品	2,231,808	2,358,533
その他	1,065,432	1,185,228
貸倒引当金	△187,458	△220,461
流動資産合計	26,021,583	26,176,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,237,877	5,449,492
その他（純額）	7,019,587	6,652,996
有形固定資産合計	12,257,465	12,102,489
無形固定資産		
のれん	1,688,080	1,496,981
その他	1,630,755	1,545,629
無形固定資産合計	3,318,836	3,042,610
投資その他の資産		
投資有価証券	4,238,656	4,637,599
その他	1,731,982	1,840,752
貸倒引当金	△10,725	△10,725
投資その他の資産合計	5,959,913	6,467,627
固定資産合計	21,536,214	21,612,726
資産合計	47,557,798	47,788,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,204,616	4,565,762
短期借入金	1,400,770	1,102,129
未払法人税等	500,515	471,882
賞与引当金	646,434	663,304
その他の引当金	295,262	251,938
その他	2,908,529	2,634,628
流動負債合計	9,956,130	9,689,645
固定負債		
退職給付に係る負債	2,239,742	2,200,884
その他	1,859,028	1,955,273
固定負債合計	4,098,770	4,156,158
負債合計	14,054,901	13,845,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,117,838	1,117,838
利益剰余金	25,378,817	26,403,410
自己株式	△5,393	△5,431
株主資本合計	29,845,616	30,870,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527,387	426,226
為替換算調整勘定	△200,006	△459,833
退職給付に係る調整累計額	△271,402	△230,847
その他の包括利益累計額合計	55,978	△264,454
非支配株主持分	3,601,303	3,337,431
純資産合計	33,502,897	33,943,147
負債純資産合計	47,557,798	47,788,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,318,962	19,535,681
売上原価	11,030,749	10,958,576
売上総利益	8,288,213	8,577,105
販売費及び一般管理費	5,968,382	6,355,052
営業利益	2,319,830	2,222,052
営業外収益		
受取利息及び配当金	63,843	74,474
持分法による投資利益	140,451	175,317
為替差益	39,156	—
その他	78,100	78,079
営業外収益合計	321,551	327,871
営業外費用		
支払利息	34,372	40,940
為替差損	—	148,797
その他	7,823	7,585
営業外費用合計	42,196	197,323
経常利益	2,599,185	2,352,599
特別利益		
固定資産売却益	1,891	2,991
関係会社株式売却益	—	53,761
段階取得に係る差益	2,697	—
特別利益合計	4,588	56,752
特別損失		
固定資産除売却損	27,015	1,144
解体撤去費用	8,101	370
子会社整理損	20,397	24,975
市場対策費用	—	83,332
特別損失合計	55,514	109,822
税金等調整前四半期純利益	2,548,260	2,299,529
法人税、住民税及び事業税	795,112	718,368
法人税等調整額	△53,855	△45,718
法人税等合計	741,256	672,650
四半期純利益	1,807,003	1,626,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	155,600	143,158
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,651,402	1,483,720

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,807,003	1,626,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,116	△101,161
為替換算調整勘定	△708,694	△347,366
退職給付に係る調整額	6,787	40,554
持分法適用会社に対する持分相当額	△23,759	△45,141
その他の包括利益合計	△690,549	△453,114
四半期包括利益	1,116,454	1,173,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,134,441	1,163,286
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,987	10,478

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,548,260	2,299,529
減価償却費	768,982	732,547
のれん償却額	124,602	139,039
貸倒引当金の増減額(△は減少)	47,772	40,369
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,802	30,327
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△16,716	1,178
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,242	8,345
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△82,944	△35,679
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,608	△43,976
受取利息及び受取配当金	△63,843	△74,474
支払利息	34,372	40,940
持分法による投資損益(△は益)	△38,461	△33,775
固定資産除売却損益(△は益)	25,123	△1,846
子会社整理損	20,397	24,975
段階取得に係る差損益(△は益)	△2,697	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△53,761
売上債権の増減額(△は増加)	△197,379	△258,132
たな卸資産の増減額(△は増加)	△214,673	△521,459
仕入債務の増減額(△は減少)	283,794	505,659
その他	△82,777	△241,619
小計	3,149,247	2,558,188
利息及び配当金の受取額	63,843	74,657
利息の支払額	△34,372	△40,940
法人税等の支払額	△741,152	△730,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,437,566	1,861,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△760,318	△495,464
定期預金の払戻による収入	1,113,367	511,061
有形固定資産の取得による支出	△723,951	△461,296
有形固定資産の売却による収入	265,451	16,542
無形固定資産の取得による支出	△56,299	△15,636
投資有価証券の取得による支出	—	△603,248
関係会社株式の売却による収入	—	100,875
出資金の払込による支出	△252,014	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△313,239	—
貸付けによる支出	△514	△314
貸付金の回収による収入	30,199	2,914
その他	△6,850	△10,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△704,170	△955,092

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	52,194	△262,720
リース債務の返済による支出	△75,702	△117,410
長期借入れによる収入	257,600	—
長期借入金の返済による支出	△411,262	△36,482
自己株式の取得による支出	—	△37
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の払込による支出	△351,303	—
配当金の支払額	△417,461	△457,241
非支配株主への配当金の支払額	△153,832	△257,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,099,767	△1,131,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	△301,963	△120,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	331,664	△346,140
現金及び現金同等物の期首残高	7,692,535	9,858,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,024,200	9,512,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,508,049	2,360,778	5,973,309	16,842,137	2,476,824	19,318,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,696,363	135,789	758,908	3,591,061	86,082	3,677,143
計	11,204,412	2,496,567	6,732,218	20,433,199	2,562,906	22,996,106
セグメント利益	1,957,397	194,901	578,955	2,731,254	99,501	2,830,756

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,731,254
「その他」の区分の利益	99,501
セグメント間取引消去	51,129
全社費用(注)	△562,055
四半期連結損益計算書の営業利益	2,319,830

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,991,055	2,381,367	5,901,976	17,274,399	2,261,281	19,535,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,704,575	80,495	935,775	3,720,846	112,431	3,833,278
計	11,695,630	2,461,863	6,837,751	20,995,246	2,373,713	23,368,959
セグメント利益	1,787,590	199,818	614,750	2,602,158	102,955	2,705,114

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,602,158
「その他」の区分の利益	102,955
セグメント間取引消去	123,597
全社費用(注)	△606,659
四半期連結損益計算書の営業利益	2,222,052

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。